

報道関係者 各位

2024. 8. 5
<配信枚数2枚>

【年間約 1,440 トンの CO2 削減】立命館附属校の電力が 100%再生可能エネルギーに！！
再生可能エネルギー由来の CO2 ゼロ電力で地球温暖化対策に貢献
-立命館学園はカーボンニュートラル・キャンパスの実現を目指します-

学校法人立命館が設置する立命館小学校(京都市北区)、立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市)および立命館宇治中学校・高等学校は、電力の地産地消を通じて持続可能な地域づくりに貢献することを目指す、たんたんエナジー株式会社(本社:京都府福知山市、代表取締役:木原浩貴)が進める再生可能エネルギー由来の CO2 ゼロ電力を、2024 年度より活用を開始しました。

学校法人立命館では、地球温暖化対策等の社会的責任を果たすとともに、持続可能な社会実現に積極的に貢献するため、CO2 排出量削減を含む環境負荷低減の実現に向け、自主的な削減目標を設定しています(※1)。

たんたんエナジー株式会社は、京都府福知山市を中心に、電力の地産地消を通じて持続可能な地域づくりに貢献することを目指してエネルギー事業を展開する企業で「立命館ソーシャルインパクトファンド」(※2)の出資先でもあります。2024 年 7 月 18 日には、立命館小学校の児童を対象に、気候変動をテーマにした環境授業を実施(※3)するなど、教育と研究(事業)を連動させた取り組みを進めています。

このたび、京都府内に立地する附属校のすべての電力が、たんたんエナジー株式会社の CO2 ゼロ電力に変わりました。これにより年間の CO2 排出量は約 1,440 トンの削減につながります。

学校法人立命館は、これからもカーボンニュートラルを実現するために、さまざまな事業に取り組んでまいります。

【CO2ゼロ電力の導入について】

導入する附属校	削減する CO2 量
立命館小学校(京都市北区)	約 260 トン
立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市)	約 680 トン
立命館宇治中学校・高等学校(京都府宇治市)	約 500 トン

【たんたんエナジー株式会社について】

立命館大学の卒業生である木原浩貴が代表を務める地域新電力会社です。立命館ソーシャルインパクトファンドや福知山市等が出資しています。市民からの出資を得て公共施設に太陽光発電・蓄電システムを設置するなど、市民参加・パートナーシップによる脱炭素地域づくりを進めています。

HP: <https://tantan-energy.jp/>

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、京都教育記者クラブ

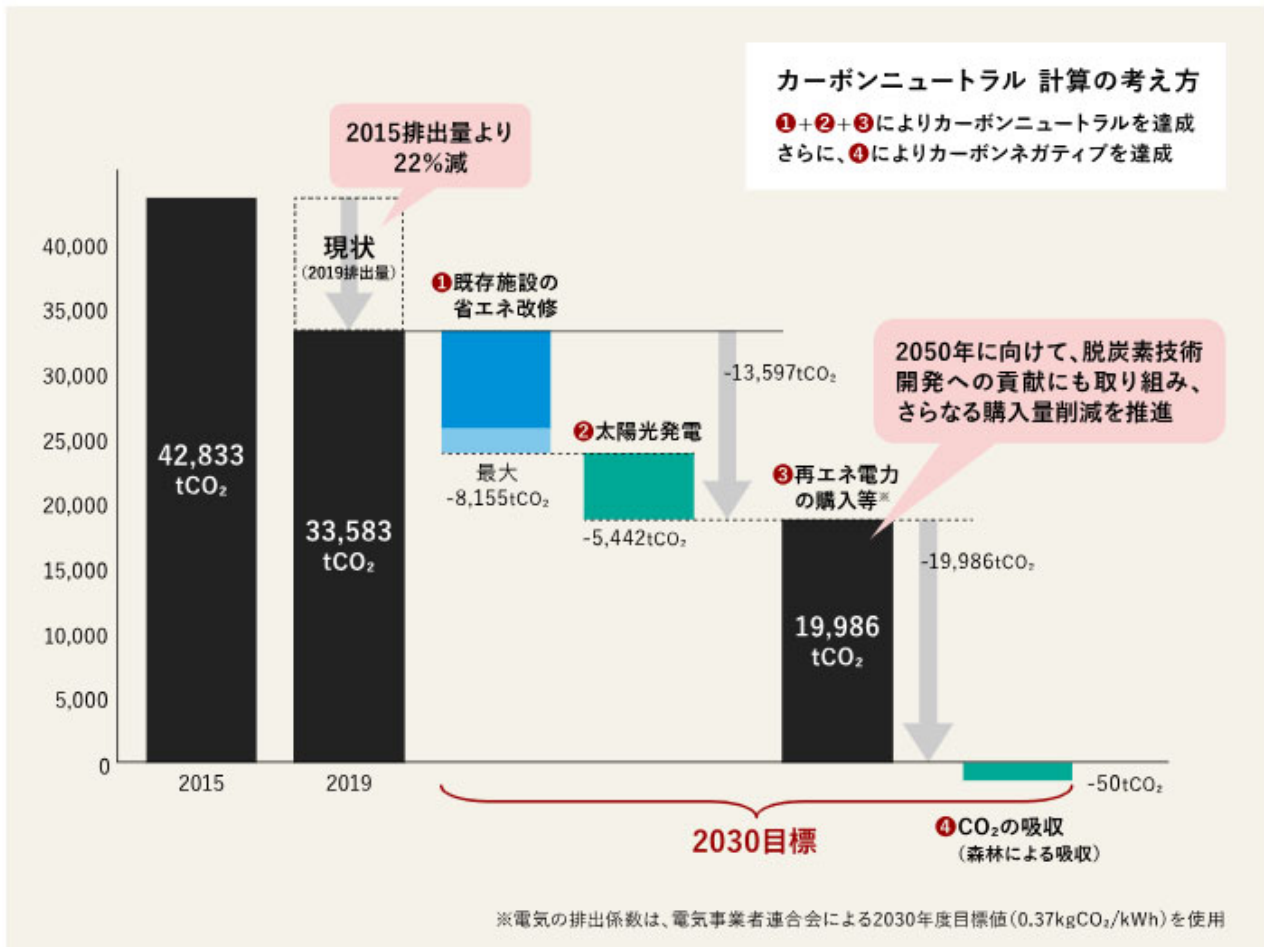
●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

別紙

(※1) 学校法人立命館の CO2 排出量削減イメージ



(※2) 立命館ソーシャルインパクトファンドについて <https://r-rimix.com/fund/>

立命館ソーシャルインパクトファンド(RSIF)は、学校法人立命館の100%出資にて設置した、社会的企業へ投資を行うインパクトファンドです。経済的リターンだけでなく、社会へ与えるインパクトを重視したソーシャルインパクトファンドであり、立命館単独出資により投資先へ長期的な支援が可能です。出資先企業とともに教育・研究における連携・実証実験にも取り組んでいます。

(※3) 立命館小学校で行った環境授業について

2024年7月18日、立命館小学校にて、たんたんエナジー株式会社が「カーボンニュートラル」や「かしこいエアコンの使い方」など気候変動に関するテーマの環境授業を実施しました。

